



公益社団法人

北海道理学療法士会

十勝支部 装具ユーザーセーフティネット

(装具相談窓口推進事業)

十勝管内の居宅ケアマネジャーのみなさま

ご担当の利用者様の下肢装具、不具合は無いですか？

利用者様の歩行移動や立位を助けるための下肢装具、一見ちゃんと使えているようで実は年数と共に本体や部品の劣化が進んでいます。

利用者様ご自身の足も装具を作ったときから変化していて、知らず知らずのうちに「実は合っていない」「機能を発揮できていない」ということもあったりします。

このたび、北海道理学療法士会では、こういった潜在的な下肢装具の不具合を抱えた方をご支援するための事業を企画しました。

とはいえ、私たち理学療法士が直接対象者を発掘することはとても難しいです。そこで、地域で活躍されている居宅ケアマネジャーの皆さまのお力をお借りできないかと考えました。

下肢装具を使用されている利用者様を訪問した際、装具に関する不具合を尋ねてみてください。また、一度装具を見せてもらってください。

裏面の「下肢装具のチェックポイント」を参考にして各所をチェックしていただき、もし故障や不具合があったら私たちにご一報ください。
田村義肢製作所 帯広支店の義肢装具士さんと相談して、より良い解決方法をご提案させていただきます。

十勝地域の装具ユーザーのみなさまが、今後も快適に装具を使用し続けていけるようご協力をよろしくお願いいたします。

※本事業は北海道理学療法士会の事業で、特定の医療・介護サービスではありません。

あくまでサポートが行き届いていない装具ユーザーさんを見出し、アドバイスやサポート先へつなぐための事業であることをご承知おきください。

ご相談後にご提案する具体的な対応（故障修理・新規作製など）に関する日程調整や受診、必要書類の準備、移動などはご本人・ご家族様に行っていただきます。

右の二次元バーコードから事業説明の動画をご覧ください
(十勝支部は事業設計が少し異なります。ご了承ください)



○下肢装具の種類

金属支柱付き下肢装具 や プラスチック製下肢装具 が多く利用されています。



金属支柱付き下肢装具
耐用年数目安：3年ほど



プラスチック製下肢装具
耐用年数目安：1年半ほど

イラスト出典： 日本支援工学理学療法学会

○下肢装具のチェックポイント：

実際に装具を観察して、以下のような点がないかチェックしてみてください

- ☐ 装着後、接触する場所に痛みや傷、皮膚の赤みはできていないか
- ☐ 皮膚や肉が圧迫されてきつくないか
- ☐ かかとまでしっかり入っているか
- ☐ 緩みが大きく、ベルトをしても中で足が動く（あそぶ）ことはないか
- ☐ 長く歩くと足が痛くないか
- ☐ ベルトが切れたりほつれたりしていないか
- ☐ ベルトのベルクロ（マジックテープ）はしっかりくっつくか
- ☐ 留め金具やねじが外れたり緩んだりしていないか
- ☐ プラスチックや金属支柱が変形したり割れたりしていないか
- ☐ 継手（関節の動きをする部分）に破損はないか
- ☐ 足底の滑り止めが剥がれたり擦り切れたりしていないか

もし、ご担当の利用者様がお使いの下肢装具に上記のような不具合があった場合は以下の方法でご相談ください。

① フォームでのご相談

右QRコードをスマホカメラ等で読み込むか、下記 URL からご相談ください。
(<https://forms.gle/FuhTMiXxQz8S5oHd8>)



② メールでのご相談・お問い合わせ

装具のご相談のほか、本事業に関するお問い合わせも下記メールにて承ります。

メールアドレス tokachi.pt.sougusoudan@gmail.com

北海道理学療法士会ホームページ内の「十勝支部」ページにてフォームと同じ様式をダウンロードいただけます。必要事項をご記入の上、メールアドレスまでお送りください。

○ https://www.pt-hokkaido.jp/ch_tokachi/

本事業に際し、事業担当の理学療法士は勤務先業務と別にご対応いたします。場合によってはお返事が遅れることもありますのでご理解くださいますようお願いいたします。

担当：公益社団法人 北海道理学療法士会十勝支部 職能部